



平成26年6月25日

各位

上場会社名 ジャパンペストレスキューシステム株式会社
 代表者 代表取締役 榎原 暢宏
 (コード番号 2453)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 鈴木 良夫
 (TEL 052-883-0850)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年6月16日付「平成26年9月期の業績予想についてのお知らせ」及び「平成26年9月期第2四半期決算短信」にて、未定としておりました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年9月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	11,157	333	205	△100	△3.00
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成25年9月期)	10,405	189	141	△486	△16.45

- (注1.) 前期実績(平成25年9月期)は、平成26年6月16日付で公表しました「(訂正・数値データ訂正)「平成25年9月期決算短信[日本基準](連結)」の一部訂正について」記載の訂正後の数値を記載しております。
- (注2.) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき5株、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

平成26年9月期において、各種会員事業の好調な推移により、会員事業の売上高は前期より増加を見込んでおります。平成25年に当社連結子会社となった株式会社パインスは、主として福島県の除染作業を行う環境メンテナンス事業を展開してまいりました。当事業において、東京オリンピック開催決定による現場作業員の人件費高騰や除染地域からの人材流出等が大きく影響しており、日を増す毎に作業員確保が困難となっていることから、一部の工区における除染作業の遅延や失注等が生じております。既に受注した工区に関しては、人件費高騰が除染作業の採算性の悪化に拍車をかけております。

加えて、今般の第三者委員会による指摘事項を踏まえ、業績を総合的に勘案した結果、業績予想は売上高11,157百万円(平成25年11月14日付公表の連結業績予想との差額(以下、差額)2,873百万円減)、営業利益333百万円(差額645百万円減)及び経常利益205百万円(差額719百万円減)となりました。

更に、今般の二度にわたる第三者委員会の設置に係る費用として155百万円を勘案し、当期純損失は100百万円(差額597百万円減)となる見込みであります。

なお、平成26年6月19日付にて、経済産業省・資源エネルギー庁選定の廃炉・汚染水対策事業事務局審査・評価委員会により、平成25年度補正予算「汚染水処理対策技術検証事業」に係る補助事業「海水浄化技術検証事業」の補助事業者として株式会社大林組と株式会社パインスが採択された旨が公表されました。本件検証事業の開始により、売上計上に先行した費用が発生する可能性があります。

(注) 上記の予想は本資料の発表時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上